

# 大学院での学び

研究科長 飯村 富子

日本赤十字広島看護大学大学院研究科では、本年度からカリキュラムを改訂し、臨地現場における高度な専門知識と技術を持った専門看護師（CNS：Certified Nurse Specialist）の養成に取り組みます。今年度は、がん及び精神看護学専門看護師コースを開講することになりました。それにあわせて教育・研究者コースも専門分野を4領域から8領域へと細分化し、新たに基礎看護学領域を新設しました。また、今回のカリキュラム改訂によって、専門科目、共通基礎科目及び共通専門科目の内容を充実・強化しました。

専門看護師コースでは、専門科目、共通科目のほかに、一定期間の実習を必要としています。従って、かなり厳しい大学院生活となるかもしれません。しかし、専門看護師という目的を持って実習に臨み、疑問や課題を解決する過程を通して獲得した学びは、臨地現場での実践知を深める上で、かけがえのない経験・力となることでしょう。

本学には、知の宝庫である図書館が充実しています。図書館には看護に関する専門図書や学術誌などの情報、文献検索の援助等の環境が整っています。また、特別講義等、大学院ならではの知的刺激に満ちた環境の提供にも努めています。院生の皆さんには、こうした教育の機会や環境を積極的に活用して、真実を深く見つけ、思考し、そこから問題を発見していく力を身につけてほしいと考えています。

大学院は学部と違い、教員が一方的に講義をする所ではありません。皆さんの臨床経験や教育の現場での体験に根差したテーマを自ら見出し、探求する場なのです。教員は研究に向き合うための考え方のヒントや方向性を示すことはできますが、皆さん自身で文献を活用し、じっくりと考える時間を大切にしてください。そして、物事にこだわり、様々な視点から検討し、深めていく姿勢を培ってください。

また、さまざまな経験と背景をもつ院生同士がお互いの状況を理解し、協力し、助け合いながら交流することは、貴重な気づきと学びの源となると思います。

本学ではまた、出来るだけ大勢の方が大学院で学べるよう、社会人として働きながら大学院で学ぶ人のために、3年間かけて学ぶ長期履修制度や授業科目の土曜日開講、情報ネットワークの利用による研究指導等、就学上の便宜も図っています。

こうした教育環境を活用し、院生の皆さん一人ひとりが本学の教育理念であるヒューマンケアリングの専門家として、看護の実践力、統率力をもった、リーダーに育っていかれることを期待しています。

## 教育理念・教育目的

### 教育理念

本学では赤十字の理想とする人道の精神に基づき、豊かな人間性と幅広い教養を育成し、学問的基盤に立ち、生命（いのち）の尊厳と人類の叡智を基調とした、真のヒューマンケアリングの意味と価値について教授し、将来、ヒューマンケアリングの実践・教育・研究の領域において、リーダーシップを発揮できる基礎的能力の育成を目指すことを教育理念としています。

看護を取り巻く状況が高度化・複雑化・専門化する中において、修士課程では、学士課程で培われた教育を基盤として受け継ぎ、深化・発展させ、より質の高い看護を提供するために、看護教育、看護研究、看護実践領域における学際的・実践的な指導者の育成に努めます。

ヒューマンケアリングの実践には、看護に関する既存の概念や理論と、人類の歴史において積み重ねられ、脈々と受け継がれてきた叡智との融合が必要とされます。

### 教育目的

#### （１）看護学教育を支える教育・研究者の育成

本学では、学部で蓄積された看護学に関する成果を、深化・発展させることによって時代と地域の要請にこたえるため、看護分野における学術上の役割を担うとともに、研究成果を看護の現場に還元し、新たな研究課題への取り組みを自立して行うことのできる研究・教育者の人材を育成します。

#### （２）高度な専門知識・技術・実践能力を備えた看護職の育成

複雑多様な実践現場において当面する課題に体系的、継続的、研究的に対応し、合理的に問題解決できる人材や、実践現場の看護職に対する指導・相談、職種間の総合的調整能力、ケアの環境条件を積極的に改革していく役割を担う人材の養成が求められています。

こうした社会的要請に応えるため、高い看護実践能力と倫理観を備えた専門看護師（CNS：Certified Nurse Specialist）の養成を行い、看護の発展に寄与できる高度専門職業人を育成します。

## 専門領域・研究教育分野の概要

### 「教育・研究者コース」・「専門看護師コース（CNS）」について

基礎看護学・看護管理学・老年看護学の領域には、「教育・研究者コース」を設けています。母性看護学・小児看護学・成人看護学(がん看護学)・精神看護学・地域看護学には、「教育・研究者コース」と「専門看護師コース（CNS）」の2コースを設けています。

入学時の履修登録において、「教育・研究者コース」・「専門看護師コース（CNS）」のいずれのコースを志向するか決定します。

#### 「教育・研究者コース」

研究成果を臨床看護や基礎教育の現場に還元するとともに、新たな研究課題への取り組みを自立して行なうことのできる「教育・研究者」を目指します。「教育・研究者コース」の院生は、「演習」及び「特別研究」に取り組み、専門領域における学術的な重要課題を探求します。院生は研究計画書に基づき、修士論文を作成します。

#### 「専門看護師コース（CNS）」

困難で複雑な健康問題を抱えた人、家族、地域等に対してより質の高い看護を提供するための知識や技術を備えた特定の専門看護分野において、卓越した看護実践能力を有する看護者を目指します。「専門看護師コース」の院生は、「実習」及び「課題研究」に取り組み、専門領域における新たな課題にチャレンジし、看護ケアの質の向上を探求します。院生は課題研究計画書に基づき、修士論文を作成します。

### 課程修了の要件

1) 定められた修業年限以上在学し、「教育・研究者コース」は、専攻領域毎に指定された授業科目について30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に「修士（看護学）」の学位を授与します。

「専門看護師コース（CNS）」は、32単位以上を修得し、課題研究の審査及び最終試験に合格した者に「修士（看護学）」の学位を授与します。

2) 定められた修業年限で所定の単位を修得できない場合は、在学を延長することができますが、通算して4年を超えることはできません。

### 専攻領域について

学士課程での基礎教育を基盤として、修士課程では次のような「教育・研究者コース」8つと「専門看護師コース（CNS）」5つの専攻領域を設けています。

## (1)「教育・研究者コース」について

### 「基礎看護学」

ヒューマン・ケアリングの概念を基に、これまで培った看護の臨床知や現象を意味付けし、看護学として探究します。学問的基盤として「人間」、「技」、「関係」、「知」を統合し、現代における看護の対象である人々を全人的に捉えて教育や研究ができる、より高い看護レベルの能力の習得を目指します。

### 「看護管理学」

社会の看護に対する需要を絶えずアセスメントし、それに政策的、組織的に対応できる能力及び、保健福祉施設における経営管理について看護管理の側面から分析し、実践に応用できる能力の習得を目指します。

### 「母性看護学」

教育 / 研究コースでは、リプロダクティブ・ヘルス・ライツを理念を中核として、性と生殖に関わるケアのあり方について関連する基礎理論の学習や国内外の関連文献検討を通して、教育的、研究的能力を深めます。

### 「小児看護学」

子どもと親を理解するための諸理論を学び、現代社会の中で生きる子どもと親の健康問題の分析と解決ができる能力を修得します。健康障害のある子どもの権利について、法的視点から分析し、擁護のあり方を考える素地を学びます。小児看護領域における問題関心を研究的にまとめる能力の修得を目指します。

### 「老年看護学」

高齢者の加齢現象、健康生活に関連する看護理論、健康評価から老いることの意味を模索し、老年看護観を再構築します。さらに看護方法、家族サポート等の知識を背景に、高齢者が直面する健康問題及び看護課題を探索的に取り組む能力を修得します。

### 「成人看護学」

病いや障がいのある成人の苦痛や苦悩に対して倫理的視点を含めた的確な臨床判断に基づく看護ケアについて探究します。さらに、成人看護学領域における質の高い看護ケアの提供に向かって研究を行う能力を修得します。

### 「精神看護学」

精神看護学では、メンタルイリュネス・メンタルヘルスについて高度な教育・研究ができるよう、精神看護学の基盤となる主要な理論・概念についての理解力、具象と抽象の統合力、思考力、洞察力および記述力を習得します。

### 「地域看護学」

総合的な視野と高い倫理観に基づいて地域で生活する人々(個人・家族・集団)をケアする高度な能力を修得します。また、地域看護におけるケアの質の向上を図るため、地域の看護課題に関して研究的に取り組む能力を習得します。

## (2)「専門看護師コース(CNS)」について

### 「母性看護学」

リプロダクティブ・ヘルス・ライツを基本理念としながらも、周産期母子及びその家族へのケアを周産期母子看護領域においてCNSとして展開できる能力を身につけることを目標に、助産学や関連する基礎理論の学習及び国内外の文献検討、実習を通して学びます。

### 「小児看護学」

小児看護領域において、高度な実践活動を行なうための素地となる緒理論と研究方法を学びます。さまざまな健康レベルの子どもとその家族のもつ諸問題の分析と問題解決ができる能力を修得します。また、看護の難しい子どもと家族に質の高いケアができるための技術・理論開発能力の修得を目指します。

### 「がん看護学」

がん患者や家族の苦痛や苦悩に対して、倫理的視点を含めた的確な臨床判断に基づいた高度な看護援助技術を用いて看護を実践する能力を修得します。さらにがん予防から緩和ケアにいたる課題に関して、がん看護実践のパイオニアとなり、新たな援助方法論を探求しがん看護実践を改革する能力の修得を目指します。

### 「精神看護学」

精神看護学では、精神障がい者またメンタルヘルスに課題を持つ対象者に対し、基盤となる主要な理論・概念を統合し、実践へ応用できる高度な看護実践能力の取得を目指します。さらに看護者への教育的機能や、臨床での研究、他職種との調整、倫理的な問題への取り組みについて探求し、臨床現場において新たな実践の開発と変革のできる能力を習得します。

### 「地域看護学」

地域看護領域において卓越した専門的能力を有する看護実践者、地域看護スタッフの相談者、およびケアチームの調整者として機能を果たす能力を修得します。また、地域看護の場において課題を分析し、より質の高いケアの開発や改革を試みる研究的能力の修得を目指します。